



Douglas
Monthly Update

ダグラスニュースレター

Vol.15
2012年7月1日号

糖尿病によるレビュー(6/11)



Vern S. Cherewatenko - 医学博士 パーン チェレワテンコ
糖尿病治療を専門とする開業医、米国家庭医学専門医、米国肥満学会認定医
著書に「糖尿病治療法 (The Diabetes Cure)」がある。
現在「女性のストレス治療法 (The Female Stress Cure)」を執筆中。

現代西洋医学がますます先鋭化し、攻撃的な治療に傾いてゆく中で、私たち医師は患者の自らが治療する力を引き出す医療をもっと大切にするべきではないでしょうか。そして、もう一步踏み込めば、病気になる前にそれを予防する医学的助言をすることが、今、求められているような気がします。私は、長年にわたってダグラスラボラトリーズのダイエタリーサプリメントを患者に処方してきました。それは極めて良質なビタミンであり、含有量が際立ったミネラルであり、また、非常に切れ味のいいハーブであったりします。そして、患者さんは安心してそれを飲み、マイルドなベースで、時には劇的に状態の改善を見せるのです。私にとってダグラスラボラトリーズの健康補助食品は、予防医療を続けてゆく上で欠かすことができません。

全国的な蔓延

糖尿病薬のクラス

医師は、2型糖尿病の治療に使用できる5つの異なる“クラス”の経口処方薬と、注射用インスリンを有する。これら経口薬のいくつかは、広範な使用に向け最近発売されたばかりである。

スルホニル尿素系

古くからの薬剤クラス、スルホニル尿素系は、長年にわたり経口薬の主流となっている。スルホニル尿素系は、1950年代から2型糖尿病の治療に使用されている。アセトヘキサミド(Dymelor)、トルブタミド(Orinase)、トラザミド(Tolinase)はすべて、第1世代スルホニル尿素系であった。Diabineseすなわちクロロプロパミドは新スルホニル尿素系で、第1世代のものと同様、糖尿病治療の際、いくつか大きな問題を有している。このクラスは患者の体重を増加させ、さらに低血糖値を生じさせる傾向がある。低血糖値は低血糖症と呼ばれ、血糖がある程度以下に降下すると生じ、いくつかの症状をもたらす。低血糖の徴候には、精神錯乱、めまい、意識消失等がある。これは我々が期待するものとはまさに逆の作用である。我々は、糖尿病患者には不要な体重増加を減らし、それ以上蓄積しないようにしてもらいたいのである。2型糖尿病患者の治療には、ときにインスリンが必要となる。当然のことながら、患者らは、毎日の注射という侵襲的な性質によりこの種の治療を好まないため、血糖値を低下させるのであれば、経口薬が人気となる。スルホニル尿素系もまた、直接的に放出を刺激することにより、インスリンレベルを上昇させる。現在選択できるものは7種あり、そのうち最近市場に現れた3種は“第2世代”スルホニル尿素系と呼ばれている。これら最新の“子供”はグリブリド(Micronase, Glynase, Diabeta)、グリビジド(Glucotrol, Glucotrol XL)、一番下の第グリメブリド(Amaryl)である。スルホニル尿素系はインスリン放出を強く刺激するが、多くの場合インスリンレベルはすでに上昇しているため、インスリンレベルの上昇と関連した問題を増悪させる。

以下は2型糖尿病に対する新たな処方薬である:

アカルボース (Precose) [αグルコシダーゼ阻害剤: AGI]

糖尿病患者において、アカルボースのようなαグルコシダーゼ阻害剤は、摂食後に生じる血糖値上昇の治療に最も使用される。この薬剤は炭水化物不耐に適し、血糖値の急激な降下を促進して別の医学的問題を増大させうるスルホニル尿素系よりも優れている。この薬剤は1996年に発売されたが、カナダやヨーロッパで先に使用された。Glysetは最も新しいAGIである。

アカルボースは、小腸においてαグルコシダーゼという酵素を妨害する。この酵素は、小腸における、摂取された各種糖の分解に関与する。もし分解できなければ、これら糖は吸収できず、血糖値の摂食後の異常な上昇

が生じにくくなる。本剤は小腸からのブドウ糖取込みを遮断するが、副作用を伴う。過度のガスおよび腹部膨満、下痢、腹痛により、社会的“事故”を恐れることなく使用するには、本剤は問題のある薬剤となっている。肝機能検査値上昇もまたアカルボースにより生じうる。小腸における吸収遮断活性のため、低血糖症イベントはブドウ糖の経口錠やゲルにより治療しなければならず、特に注意を払うべきである。過敏性腸疾患、潰瘍や大腸炎といった炎症性の腸の問題のある患者もまた、この治療選択肢を回避すべきである。さらに腎障害のある患者も、2型の治療薬は他のものにすべきである。

メトホルミン (Glucophage) [ビグアナイド]

メトホルミンなどのビグアナイド類は、スルホニル尿素系のように体重増加を生じたり、心血管系リスクプロファイルを増大させたりしないよう、改良された糖尿病薬である。メトホルミンは肝臓と筋肉によるブドウ糖の利用を促進させる。筋肉では、メトホルミンはブドウ糖が細胞内に容易に入り込み、代謝されるようにする。さらに肝臓では、ブドウ糖の産生を遅らせる。Glucophageは1995年の春に導入され、トリグリセリド値や総・LDLコレステロール値を低下させることがわかっている。善玉コレステロール(HDLコレステロール)値の上昇と軽度の体重減少も生じさせる。しかしながら、本薬剤のこうした有益性には犠牲がある。本薬剤の服用者は、不快な副作用として鼓腸、悪心、こむらねがえり、腹部膨満、下痢を報告している。しかし通常は数日後には消失する。腎障害やうつ血性心不全のある患者や、肝障害のある患者には、この薬剤を服用させない。アルコールや過度の飲酒は、メトホルミンとは合わない。腎盂造影やCTスキャンなど、造影剤としてヨウ素を使用する検査を受けた後、48時間以内は服用すべきでない。

トログリタゾン (Rezulin) [チアゾリジンジオン]

糖尿病に対する最新の薬剤の1つは、トログリタゾンやRezulinと呼ばれるチアゾリジンジオンで、登場直後に市場から取り払われた。本剤はインスリン抵抗性に作用する最初の薬剤であった。Rezulinはインスリンの作用を増大させるが、当ホルモンの実質的な放出は増大させない。その作用を表現するのに、文献では“インスリン抵抗性改善薬”という用語が使用されている。本薬剤は、インスリンが有効であれば、筋肉を介しブドウ糖を代謝させる。本剤の副作用として、コレステロール値上昇と重度の肝障害が生じうるが、最終的にFDAが本剤の市場からの撤退を要請した。RezulinはGlyburideと併用して服用した患者においては、有意な体重増加もみられた。この錠剤は、2型糖尿病でインスリンを使用している患者に用いられた。本剤の有益性および潜在的重要性は、インスリン注射を行っている患者が、トログリタゾン服用中はインスリンを中止しうることであった。トログリタゾンは現在使用できないが、新たなチアゾリジンジオン系(AvandiaおよびActos)には、一層効果が高く、先行品よりも副作用の少ないことが期待される。

Product on the Paper

このコーナーでは、掲載論文に関連したダグラス製品を紹介しています。

GlucoBrium™ グルコブリウム™

品 番：99155-60
価 格：6,825円(税込み)
内 容 量：60粒入り/1日1～2粒/30～60日分



含有成分(1粒あたり)	含有量
ギムネマシルベスタ抽出物 (40%ギムネマ酸)	200 mg
コロハ種子抽出物 (20% 4-ヒドロキシイソロシン)	125 mg
シナモン抽出物	125 mg

血糖値対策・・・複合型

【グルコブリウム™】は、ハーブのみで血糖値を低めに誘導しようとするフォーミュラです。糖分の吸収を抑制する作用を持つギムネマシルベスタや、大変優秀な食物繊維で、胃腸で消化物を包みこむために消化がゆっくりとなるコロハは、同じブロック型です。また、シナモンに多く含まれるメチルヒドロキシカルコンポリマー(MHCP)というポリフェノールは、インスリンに似た働きをする物質で、インスリンを助ける内部作用型と、それぞれの良いところを組み合わせることで、無理なく血糖値を低めに誘導します。

Product Review

Green Tea Extract Max-V グリーンティー エクストラクト マックス-V

品 番：77344-60
価 格：1,470円(税込み)
内 容 量：60粒入り/1日2粒/30日分



カテキンが豊富なお茶のサプリメント

アルカロイドは緑茶に含まれる渋みの成分です。優れた抗酸化作用により動脈硬化の予防、老化防止、発ガン予防に効果があるといわれています。また、高血圧、高コレステロールの改善、抗菌作用、抗ウイルス作用も研究によって認められています。

Multi-Probiotic 4000 マルチ-プロバイオティック 4000

品 番：7497-100
価 格：4,410円(税込み)
内 容 量：100粒入り/1日1～3粒/33～100日分



1 カプセルに40億個の善玉腸内細菌

【マルチ-プロバイオティック 4000】は7種類、約40億個もの善玉腸内細菌をアクティブのままフリーズドライ加工し、腸に落ちてから溶けるマイクロカプセルに入れた、活性プロバイオティックサプリメントです。腸内フローラを改善することによるメリットとして、便通の促進、免疫系の強化、腸内細菌が生成するビオチンが増えることによる皮膚疾患の改善、腸に関連する悪性腫瘍発症のリスク低下などが挙げられています。

含有成分(1粒あたり)	含有量
緑茶抽出物 (50%ポリフェノール)	100 mg
緑茶抽出物 (非標準化)	100 mg

含有成分(2粒あたり)	含有量	含有量
L.アシドフィルス菌(DDS-1™)	11億5000万 CFU	特別ブレンド 215 mg
L.ラムノーサス菌	11億5000万 CFU	(以下の成分を含む)
L.ラムノーサス菌(タイプB,ピフィダス)	7億7500万 CFU	FOS(フラクトオリゴ糖)
B.ラクティス菌	2億7500万 CFU	アカニレ樹皮抽出物
ビフィズス菌ロンガム	2億7500万 CFU	
B.ピフィダム菌	2億7500万 CFU	
S.サーモフィルス菌	1億5000万 CFU	

DDS-1™は、Nebrasaka Cultures, Inc.の商標登録出願中商品です。

Order Made Supplement Service

分包による
オーダーメイド
サプリメント
サービス！



- 患者様に合わせた指示箋ができる、オーダーメイド分包サービスです。患者様の満足度がより高くなります。
- 在庫負担がありません。
- 商品のお届けは、クリニック様お届けと患者様直送からお選び頂けます。
- ラベルデザインや容器も色々お選び頂けます。



編集後記

ダグラスニュースレターをお読みいただき誠にありがとうございました。これからも最新の臨床データ、商品情報などを正確に、また、迅速にご提供してまいります。どちら様もご意見・ご希望がございましたら編集者までお寄せください。

無断転載・転用は固くお断りいたします。

発行者：
〒135-0091 東京都港区台場2-3-2
日本ダグラスラボラトリーズ株式会社
TEL: 03-5530-2212